

学習の要点

日露戦争が起こった理由と、日露戦争の結果を明らかにしよう。

日露戦争とは、1904年2月8日から1905年9月5日にかけて、日本とロシアの間で行われた戦争。

Q:なぜ、日露戦争は起きたのか？原因は？ → 清(現在の中国)で起きた運動が原因

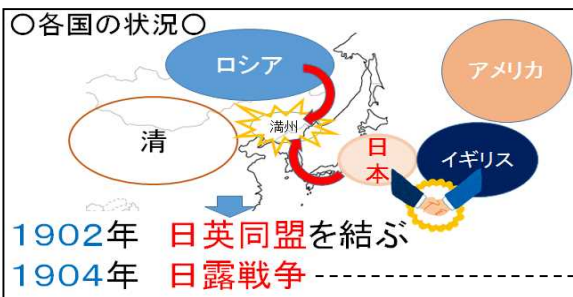
1899年 義和団事件 (清で、義和団という組織が「扶清滅洋」をスローガンにかかげ、清をたすけて外国勢力を討ち滅ぼそうと運動を起こす。清政府もこの動きを受けて列強に宣戦布告した。)

- ～義和団を鎮圧するために～
- ・列強は連合軍を結成 (日本も一員)
 - ・日本とロシアが軍隊を多く送り込む

1900年 義和団を鎮圧

当時の世界や日本の様子を見てみよう

ロシア：南下政策を実施、凍らない港を手に入れたい。
 義和団事件後も満州に軍隊をとどめる。
 日本：満州と隣り合う韓国を確保したい。
 イギリス：清での利権確保のために、日本の軍事力を利用したい。
 →日本はイギリスと同盟を組みロシアと戦争へ

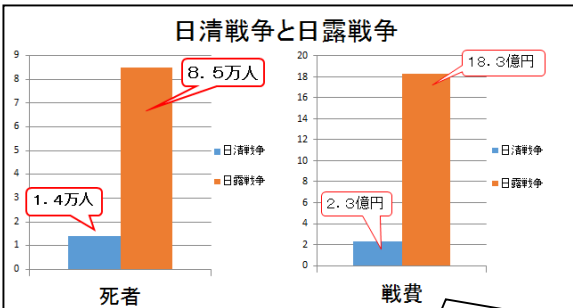


★戦争の流れと結果★

<p>日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦戦を重ねる ・イギリス、アメリカが日本を支援 ↓ ・戦力は限界！ 	<p>ロシア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内で革命 <p>専制政治反対</p>
--	--

両国とも戦争継続が困難な状態に！

・1905年5月 日本海海戦で勝利したタイミングで講和会議
 ・9月にポーツマス条約を結ぶ



日露戦争は負担が大きかった

ポーツマス条約

- ロシアは、
- ①韓国における日本の優越権を認める。
 - ②旅順や大連の租借権、長春以南の鉄道利権を日本にゆずる
 - ③北緯50度以南の樺太(サハリン)を日本にゆずる
 - ④沿海州・カムチャッカ半島周辺での日本の漁業権を認めた。

戦後の日本の地位と国民の意識に注目しよう。

★日露戦争による変化★

<p>国の地位</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争での勝利！日本は列強として国際的地位を固めた！ ・日本は新たな帝国主義国としてアジアの民族に接することに！ 	<p>日本国民の意識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民の中に、帝国主義国の一員になったという大国意識が生まれた！ ・アジア諸国に対する優越感が強まった！
--	---

国内での反応は・・・

戦争の負担が大きかったにもかかわらず、賠償金を得ることができなかった。
 東京では暴動も起きた(日比谷焼き打ち事件)

〈まとめ〉
 日露戦争の勝利は、日本の列強としての地位を固め、新たな帝国主義国へとつながった。
 また、不平等条約の改正へ前進した。